

10代の若者たち、ソーシャル・メディア、テクノロジー2018

2018年5月31日

ユーチューブ、インスタグラム、スナップチャットは、10代の若者たちの間で最も人気のあるオンライン・プラットフォームである。10代の若者たちの実に95%が「スマートフォンにアクセスする」、45%が「ほぼ常に」オンライン状態である」と回答している。

モニカ・アンダーソン、ジンジン・ジャン

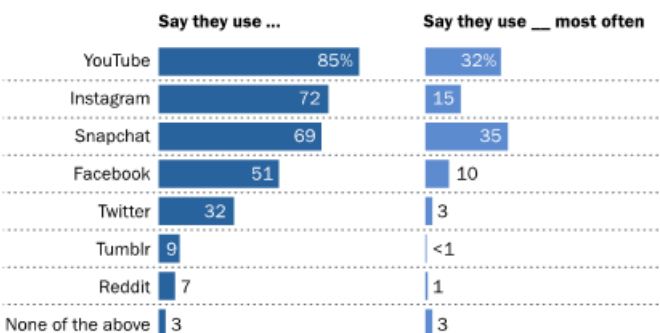


成人の間で利用されているソーシャル・メディアとメッセージング・アプリに関する最新の調査データについては、[「2021年のソーシャル・メディアの利用」](#)を参照のこと。

最近まで、フェイスブックはアメリカの若者たちの間でソーシャル・メディア環境の主流だった。しかし、最新のピュー研究センターの調査によると、フェイスブックはもはや10代の若者たちの間で最も人気のあるオンライン・プラットフォームではない。今日、13～17歳のアメリカの10代の若者たちの約半数(51%)が「フェイスブックを使っている」と答えており、ユーチューブ、インスタグラム、スナップチャットを利用している若者たちのシェアよりも著しく低くなっている。

YouTube, Instagram and Snapchat are the most popular online platforms among teens

% of U.S. teens who ...



Note: Figures in first column add to more than 100% because multiple responses were allowed. Question about most-used site was asked only of respondents who use multiple sites; results have been recalculated to include those who use only one site. Respondents who did not give an answer are not shown.

Source: Survey conducted March 7-April 10, 2018.

"Teens, Social Media & Technology 2018"

PEW RESEARCH CENTER

10代の若者たちに見られるソーシャル・メディアの使用に関するこのような変化は、2014～2015年に同センターが[最後に行った](#)「10代の若者たちとテクノロジーの使用に関する調査」以降、若者たちにとってテクノロジー環境がどのように進化したかを示す一例にすぎない。最も注目すべきは、スマートフォンの所有が、10代の若者たちの生活の中で、ほぼユビキタスな要素になっている点である。現在、10代の若者たちの95%が「スマートフォンを持っている」、または「スマートフォンにアクセスする」と報告している。これらのモバイル接続は、より永続的なオンライン活動にいずれ移行するよう後押ししている。現在、10代の若者たちの45%が「ほぼ常にオンライン状態にある」と述べている。

本調査はまた、ソーシャル・メディアが今日の若者たちの生活に与える影響について、10代の若者たちの間で明確なコンセンサスがないことを見出している。10代の少数派の若者たちは、その効果を「たいていの場合はいい(31%)」、または「たいていの場合は悪い(24%)」と表現するが、最大の割合を占める若者たち(45%)は「効果については、よくも悪くもない」と述べている。

これらは、2018年3月7日～4月10日に実施されたアメリカの10代の若者たちに対する同センターの調査で得られたおもな結果の一部である。このレポート全体を通して、“10代”とは13～17歳の若者を指す。

フェイスブックはもはや10代の若者たちの間で主流のオンライン・プラットフォームではない

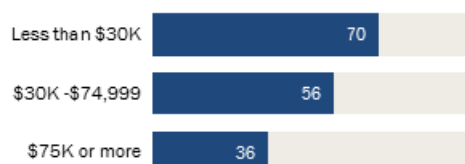
10代の若者たちが住むソーシャル・メディア環境は、つい3年前とは著しく異なって見える。[同センターが2014～2015年に実施した](#)10代の若者たちのソーシャル・メディアの使用に関する調査では、10代の若者たちの71%が「フェイスブック・ユーザである」と報告した。当時、10代の若者たちの大多数が、他のプラットフォームを使用していなかった。10代の若者たちの約半数(52%)が「インスタグラムを使用している」と答え、41%が「スナップチャットを使用している」と報告した。

2018年には、この年齢層のかなりの人数が、フェイスブック以外の3つのオンライン・プラットフォーム——ユーチューブ、インスタグラム、スナップチャット——を使用している。一方、10代の若者たちの51%は「フェイスブックを使用している」と答えている。ツイッターとタンブラーを使用している10代の若者たちの割合は、2014～2015年の調査での割合とほぼ同じである。

殆どの場合、10代の若者たちは、人口統計学的特性に関係なく、同様のプラットフォームを使用する傾向にあるが、例外はある。特に、低所得の10

Lower-income teens are more likely than teens from higher-income households to use Facebook

% of U.S. teens, by annual household income, who say they use Facebook



Source: Survey conducted March 7-April 10, 2018.
“Teens, Social Media & Technology 2018”

PEW RESEARCH CENTER

代の若者たちは、高所得世帯の10代の若者たちよりも、フェイスブックに引き寄せられる傾向 — [以前の同センターの調査](#)と一致する傾向 — が強い。「フェイスブックを使用している」と答えた若者たちは、年収が3万ドル未満の世帯に住む場合、10人に7人であり、これに対して、家族の年収が7万5000ドル以上の場合、36%だった(様々な人口統計グループによるソーシャル・メディア・プラットフォームの使用の詳細については、[付録 A](#)を参照のこと)。

ピュー研究所が実施した10代の若者たちのソーシャル・メディアの使用に関する調査を見ると、質問の文言に関して、2014~2015年と2018年との間で、いくつかの変更があったことに注意することが重要である。ユーチューブとレディットは、2014~2015年の調査では選択肢に含まれていなかったが、現在の調査には含まれている。更に、2014~2015年の調査では、回答者に対し、各プラットフォームを使用したかどうかについての明確な回答を求めていたが、2018年の調査では、回答者に対し、サイトのリストを提示し、使用するサイトを選択できるようにした。それでも、今日のソーシャル・メディア環境は、3年前よりも、単一のプラットフォームを中心に展開していることが明らかに少ない。

10代の若者たちが、こういったオンライン・プラットフォームのどれを最もよく利用するかに関して言えば、約1/3が「スナップチャット(35%)またはユーチューブ(32%)に最も頻繁にアクセスする」と答え、15%がインスタグラムと答えている。対照的に、10代の若者たちのうち「フェイスブックを最もよく使用するオンライン・プラットフォームだ」と回答したのは10%で、ツイッター、レディット、タンブラーを最も頻繁にアクセスするサイトとして挙げている若者は更に少ない。

繰り返しになるが、低所得の10代の若者たちは、高所得世帯の10代の若者たちよりも「フェイスブックが最も頻繁に使用するオンライン・プラットフォームだ」と言う傾向がはるかに強い(22%対4%)。10代の若者たちが最もよく使うサイトに関して言えば、性別、人種、民族に関連するいくつかの違いもある。少女は少年よりも「スナップチャットが最も頻繁に使用するサイトだ」と言う傾向が強く(42%対29%)、少年は少女よりもユーチューブを人気のプラットフォームとして認識している傾向が強い(39%対25%)。更に、白人の10代の若者たち(41%)は、ヒスパニック(29%)または黒人(23%)の10代の若者たちよりも「スナップチャットが最も頻繁に使用するオンライン・プラットフォームだ」と言う傾向が強く、黒人の10代の若者たちは、白人の10代の若者たちよりも「フェイスブックが最も頻繁に使用するサイトだ」と認識している傾向が強い(26%対7%)。

10代の若者たちは、ソーシャル・メディアが自分たちの生活に与える影響について様々な見解を持っている

彼らの生活の中でソーシャル・メディアがほぼあらゆるところに存在しているにも拘わらず、これらのプラットフォームが同年代の人たちに与える最終的な影響について、10代の若者たちの間に明確なコンセンサスはない。10代の若者たちの複数(45%)が「ソーシャル・

メディアは同年代の人たちにいい影響も悪い影響も及ぼさない」と考えている。一方、10代の若者たちの約3/10(31%)が「ソーシャル・メディアは、たいていの場合、いい影響を与える」と述べ、24%は「たいていの場合、悪い影響を与える」と述べている。

「ソーシャル・メディアは、たいていの場合、プラスの効果をもたらす」と言う10代の若者たちは、自分の意見を自分の言葉で説明する機会があるので、他者との接続性や繋がりに関連する問題を強調する傾向があった。今回の回答者の約40%は、「ソーシャル・メディアは、他人と連絡を取り合い、交流するのに役立つため、いい影響を与える」と述べた。これらの回答の多くは、ソーシャル・メディアによって、家族や友人とのコミュニケーションや、新しい人たちとの繋がりがいかに簡単になったかを強調する。

「ソーシャル・メディアは、遠く離れた家族と話すことができるので、プラスの効果があると思う」(少女・14歳)

「ソーシャル・メディアは、同年代の子たちの孤独感とか孤立感を和らげることができると思う。人と触れ合える空間を作っているのよ」(少女・15歳)

「おかげで、みんなが友達と簡単に繋がれるし、新しい友達を作ることだってできるよ」(少年・15歳)

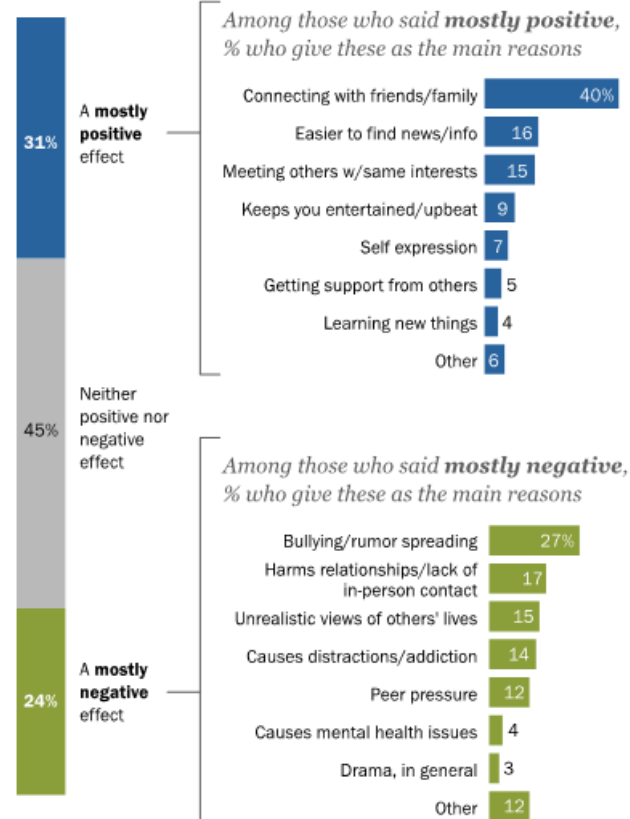
このグループには、ソーシャル・メディアが促すニュースや情報へのアクセスの向上(16%)、または同様の関心を共有する人たちと繋がることができること(15%)を挙げる若者たちもいる。

「私の読みたい本を探すため、お母さんはいつでも、車で図書館まで私を連れて行かなければなりません。お母さんの姿を見ると、その記憶がよみがえります」(少女・14歳)

「同年代のたくさんの子供たちに、自分たちの意見や感情を表現したり、同じように感じる

Teens have mixed views on social media's effect on people their age; many say it helps them connect with others, some express concerns about bullying

% of U.S. teens who say social media has had ___ on people their own age



Note: Respondents who did not give an answer are not shown. Verbatim responses have been coded into categories, and figures may add up to more than 100% because multiple responses were allowed.

Source: Survey conducted March 7-April 10, 2018.
"Teens, Social Media & Technology 2018"

PEW RESEARCH CENTER

人たちと繋がる出口を与えてくれました」(少女・15歳)

少数派の意見としては「ソーシャル・メディアは娯楽に適した場所だ(9%)」、「自己表現のためのスペースを提供してくれる(7%)」、「10代の若者たちが、他の人の支援を得たり(5%)、一般的に新しいことを学ぶことができる(4%)」などがある。

「創造されたもの、作成されたものがたくさんあると、喜びが広がるから」(少年・17歳)

「[ソーシャル・メディアを使用すると]自由にコミュニケーションをとったり、他の人が何をしているかを確認できます。[それは]私たちに、たくさんの人たちに届けることのできる声を与えてくれるんです」(少年・15歳)

「私たちは、様々な場所にいる人たちと、もっと簡単に繋がることできるし、ソーシャル・メディアを通じて助けを求める可能性が高くなって、そのことが人々を救うことになりました」(少女・15歳)

「ソーシャル・メディアは、たいていの場合、同年代の人たちに悪い影響を及ぼしている」と言う10代の若者たちの間では、若干コンセンサスがとれていない。最も多かった回答(今回の10代の若者たちの27%が言及した)は、ソーシャル・メディアがいじめの増加と、噂の全体的な拡散に繋がったというものである。

「憎悪について話し、憎悪について教え合い、お互いを軽蔑するための、たくさんの聴衆を提供している」(少年・13歳)

「匿名で好きなことを言うことができるけど、それは悪い影響があると思う」(少年・15歳)

「ソーシャル・メディアで目にすることや、ソーシャル・メディアで起こったことが原因で、10代の若者たちが人を殺すようになるから」(少女・14歳)

一方、今回の回答者の17%は「こういったプラットフォームが人間関係をダメにし、意味のない人間関係をもたらす」と感じている。同じ割合の回答者は「ソーシャル・メディアは、現実を歪め、10代の若者たちに、他人の生活の非現実的な様子を見せている(15%)」、または「10代の若者たちは、ソーシャル・メディアに時間を消費しすぎている(14%)」と考えている。

「社会的(対面的)相互作用に悪い影響を及ぼしている」(少年・17歳)

「実際の生活での付き合いを難しくさせていますね、だって、人と直接対話しないことに慣れていますから」(少女・15歳)

「誰かの人生の偽りのイメージを提供しますね。そういったの人たちの人生は完璧だと感じさせられることがあります、そうじゃないのに」(少女・15歳)

「[10代の若者たちは]宿題をする代わりに、携帯電話でスクロールしちゃうんだよ。とても簡単にできるから。物凄く気が散るね」(少年・17歳)

別の12%は、10代の若者たちに、同調圧力に屈するよう影響を与えているとして、ソーシャル・メディアを批判しているが、「こういったサイトが心理的な問題やドラマに繋がる可能性がある」という懸念を表明した割合はもっと少ない。

10代の若者たちの大多数は、自宅のコンピューターまたはスマートフォンにアクセスしている

現在、10代の若者たちの約95%が、「スマートフォンを持っている」、または「アクセスできる」と言う。2014～2015年にそう回答した10代の若者たちは73%いたが、今回の結果は、そこから22%ポイント増加している。スマートフォンの所有は、性別、人種、民族、社会経済的背景が異なる10代の若者たちの間でほぼ共通している。

10代の若者たちのコンピューターへのアクセスに関して言えば、より微妙な話が浮かび上がる。10代の若者たちの88%は「自宅でデスクトップまたはノートPCにアクセスしている」と報告している一方で、アクセスは収入レベルによって大きく異なる。年収75,000ドル以上の世

帯の10代の若者たちの96%は「自宅でコンピューターにアクセスする」と答えているが、年収が30,000ドル未満の世帯の10代の若者たちの割合は75%に低下する。

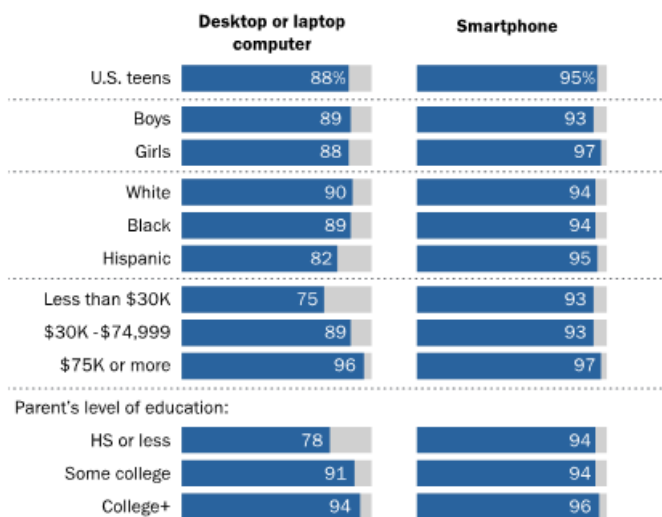
コンピューターへのアクセスは、両親の教育レベルによっても異なる。学士号以上の学歴を持つ親のいる10代の若者たちは、高卒以下の学歴しか持たない親のいる10代の若者たちよりも、「コンピューターにアクセスする」と回答する傾向が強い(94%対78%)。

「インターネットをほぼ常に使用している」と述べた10代の若者たちの割合は増加している

スマートフォンへのアクセスが普及するにつれ、「ほぼ常にインターネットを使用している」と報告する10代の若者たちの割合は増えている。10代の若者たちの約45%が「ほぼ常に」インターネットを使用している」と答えている。2014～2015年の調査で同じように答えた10代の若者たちは24%だったが、これはそのほぼ2倍である。10代の若者たちの44%は、「1日に数回オンラインにアクセスしている」と答えている。つまり、10代の若者たちの約9/10が、1日に少なくとも複数回オンラインにアクセスしている。

Smartphone access nearly ubiquitous among teens, while having a home computer varies by income

% of U.S. teens who say they have or have access to a ____ at home



Note: Whites and blacks include only non-Hispanics. Hispanics are of any race. Parent's level of education based on highest level of education associated with a teen's parent.

Source: Survey conducted March 7-April 10, 2018.

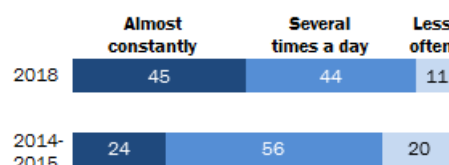
"Teens, Social Media & Technology 2018"

PEW RESEARCH CENTER

10代の若者たちのインターネット使用頻度には、性別、人種、民族によっていくつかの違いがある。10代の少年の39%と比較して、10代の少女の半分(50%)は、ほぼ常にオンライン・ユーザの状態にいる。そして、ヒスパニック系の10代の若者たちは、白人よりも「ほぼ常にインターネットを使用している」と報告する傾向が強い(54%対41%)。

45% of teens say they're online almost constantly

% of U.S. teens who say they use the internet, either on a computer or a cellphone ...



Note: "Less often" category includes teens who say they use the internet "about once a day," "several times a week" and "less often."
Source: Survey conducted March 7-April 10, 2018. Trend data from previous Pew Research Center survey conducted 2014-2015. "Teens, Social Media & Technology 2018"

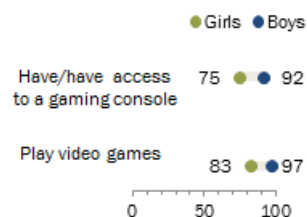
PEW RESEARCH CENTER

少年も少女も、その大多数は、ビデオ・ゲームで遊んでいるが、ゲームをすることは、ほぼすべての少年に共通している

全体として、10代の若者たちの84%は「自宅にゲーム機を持っている」、または「アクセスする」と答え、90%が「あらゆる種類のビデオ・ゲーム(コンピューター、ゲーム機、携帯電話であろうと)で遊んでいる」と答えている。少女の大多数は「自宅でゲーム機にアクセスする(75%)」、または「一般的にビデオ・ゲームで遊んでいる(83%)」と報告しているが、この割合は少年の場合、更に高くなる。凡そ10人に9人の少年(92%)が、自宅にゲーム機を持っているか、アクセスし、97%は「何らかの形式や方法で、ビデオ・ゲームで遊んでいる」と答えている。同センターが2014~2015年にかけて10代のテクノロジーの様相を調査して以来、ヒスパニックの10代の若者たちと、低所得世帯の10代の若者たちの間で、ゲーム機の所有が増加してきた。「自宅でゲーム機にアクセスする」と言うヒスパニックの割合は、この期間中に10%ポイント増加した。また、年収が3万ドル未満の世帯の10代の若者たちの85%が「自宅にゲーム機を持っている」と答えており、2014~2015年の67%に比べて増加している。

Most teen boys and girls play video games

% of U.S. teens who say they ...



Source: Survey conducted March 7-April 10, 2018. "Teens, Social Media & Technology 2018"

PEW RESEARCH CENTER

(以下略)